

レポートシステムの重視により STELLARReport を導入
システムを導入後は紙のレポートを探す時間と手間がなくなり作業がスムーズに



Nazca 使用風景

導入経緯

院内システム拡張と業務効率化を目指し、
電子カルテ更新とともに PACS 導入

これまで当院は診察時にはフィルムに焼き、所見は紙に書くという運用を行っておりました。

2012 年は電子カルテの更新の時期であり、院内でもこれまで以上に業務の効率化を図ってほしいという機運が高まりました。そこで、システム拡張の一環として PACS を導入することとなりました。

**レポートシステムの柔軟性、
各システムの拡張性の高さが決め手**

画像ビューアはもちろんのこと、PACS 導入にあたってはレポートシステムを重視していました。ビューアについては、導入前より他院からの評価も聞いており、元より問題なく使用できると認識しており、システム導入後も快適に操作できています。

レポートシステムでは、書きやすさ、検索の仕方、過去比較のしやすさなど操作性を求めていました。アストロステージの STELLARReport は検索から過去所見、画像比較、また過去所見引用なども容易にでき、求めているものと合致すると感じました。

また、NazcaView だけではなく、STELLARReport もユーザ毎の設定も可能であるという柔軟性にも魅力を感じました。さらに STELLAR のように時系列で 1 患者のデータを統合管理できる機能を持ったものも他社ではなかなかなく、各アプリケーションの機能の高さと対費用効果の点からもアストロステージを選定しました。



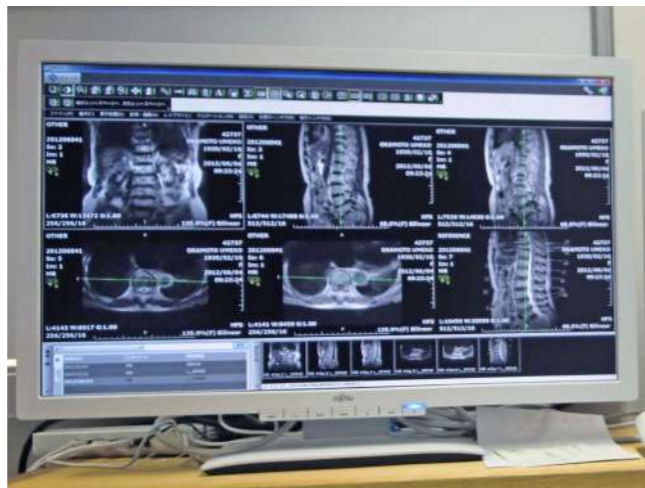
導入効果

画像および所見の過去比較が容易になり
業務効率が向上

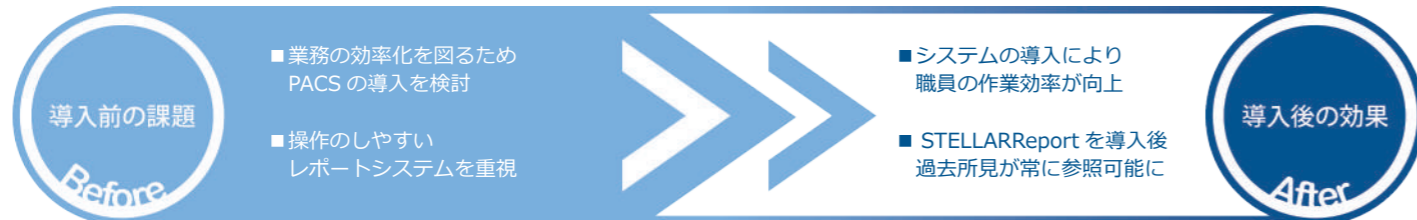
紙で管理していた以前までは、患者様の過去所見を見る際にも探す手間や、人員が割かれていました。STELLARReport になってからは、これから所見をつけようとする検査の入力画面から、過去所見も常に参照可能になりました。そのため過去所見が記載された紙のレポートを探す時間と手間がなくなりました。

また、当院では外部の専門医が読影を行うこともありますが、今まではどの画像を読影していいかが分かりませんでした。しかし、現在では検索も容易になり、システムを通し職員間のコミュニケーションや読影の依頼もスムーズになりました。そのため、外部のドクターでも自分が読影すべき検査、ポイントがすぐに分かるようになり、読影業務の開始がスムーズになりました。

このように院内全体の業務効率化に一役買っていると思います。



Nazca 使用端末



伊月病院：システム導入時期 / Oct 2012



私どもは、一期一会の心をもって最高最善の看護と介護並びに治療を行い社会に奉仕する、という理念を持ち日々邁進しております。また、以下の行動方針を持ち、精進しております。

- ・皆様方に信頼され、安心していただける病院をめざします
- ・スタッフの働きがいある病院をめざします
- ・無駄をなくした経営の安定化をめざします
- ・清潔で、笑顔あふれる病院をめざします
- ・専門性を持ち、かつ全人的な医療もできる病院をめざします

今後も患者様第一の地域医療に取り組んでまいります。

所在地：徳島県徳島市徳島町 2-54
病床数：89 床
診療科：内科・神経内科・胃腸科・呼吸器科・循環器科・リハビリテーション科



今後の方針

STELLAR という部門をまたいで 1 名の患者様のデータを一元管理できる、拡張性のあるシステムも導入しているため、将来的には STELLAR を用いて各システムの統合や連携も検討していきたいと考えています。



今後の期待・要望

アストロステージ選定理由にもなりますが、アストロステージの強みはシステムの柔軟性と、システムの導入を行うだけではなく、医療機関や現場に耳を傾けより良い方法をともに考えられる姿勢にあると思います。今後もその強みを生かし、医療機関のよきパートナーとして発展して欲しいと思います。



システム構成図

